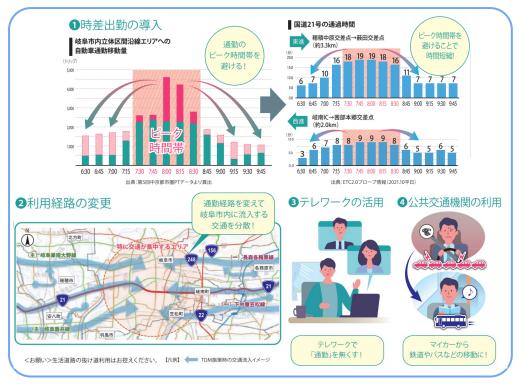
(1) 実施概要

■ 実施概要

項目	内容	
実施目的	○朝の通勤時間帯(8時前後)を中心に慢性的な渋滞が発生する国道21号を 始めとした岐阜市内の道路の渋滞緩和を目的として実施	
実施期間	○2022年 11/28(月)~12/9(金) ※集中実施日:12月1日(木)、12月8日(木)	
対象者	○国道21号沿線(岐阜市、大垣市、各務原市、瑞穂市、岐南町)の行政(国県市)・企業のうち、岐阜市内を発着する道路利用者	
実施内容	① 時差出勤の導入 ② 利用経路の変更 ③ テレワークの活用 ④ 公共交通機関の利用	



■ 周知方法

周知方法	内容
リーンツトの配布	○TDM社会実験の概要をとりまとめたリーフレットを作成し、商工会議所等を通じて、対象企業に配布。また、関係施設に据え置きも実施
関係機関HP	○TDM社会実験の各種情報を関係機関(岐阜国道事務所、県、市、商工会議所
への掲載	等)のHPに掲載
SNSによる	○岐阜国道事務所が管理する、TwitterやInstagramのアカウントを通じて、TDM
発信	社会実験の概要を発信
対面説明の	○沿線自治体・沿線商工会議所等を対象に、TDM社会実験に関する理解・協力を
実施	依頼するため、対面による説明を実施
WEB説明会の	○主に企業を対象に、TDM社会実験に関する理解を深めていただくため令和4年
開催	11月17日、18日の2日間に分けて、WEB説明会を開催
道路情報板の 表示	○国道21号上の道路情報板に、TDM社会実験への協力依頼内容を表示





▼WEB説明会 開催状況



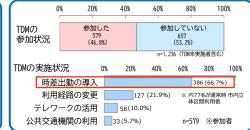
(2) 効果検証① 利用者アンケート調査結果

- TDM社会実験 実施期間の行動変化や交通状況の変化を把握するため、アンケート調査を実施。 (調査期間:R4.11.28(月)~12.20(火))
- 結果として、1,236のサンプル数を取得。交通面や生活面での改善効果に関わる多くの意見を取得。

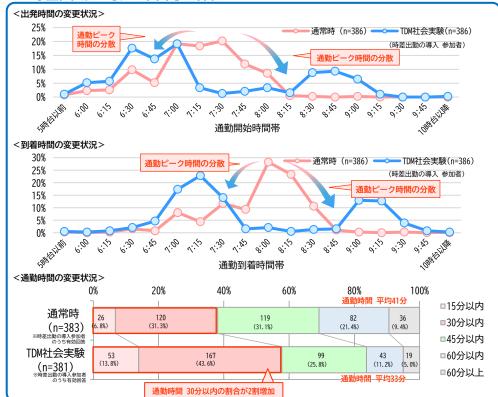
■ 回答者属性



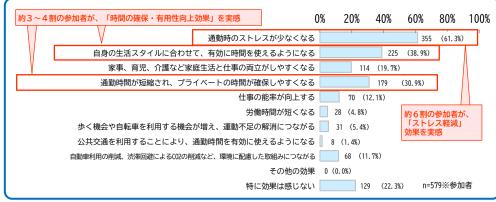
■ 参加状況



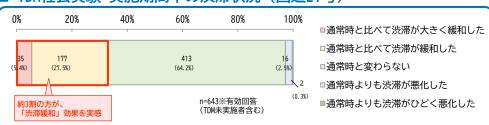
■ 時差出勤の導入(市内全体)



■ TDM社会実験 実施期間中に実感した効果(市内全体)



■ TDM社会実験 実施期間中の渋滞状況(国道21号)



■ TDM社会実験に対する自由意見(抜粋)

| 時差出勤の推進は、とても広範囲にわたりいい影響を与えると考えているので、もっとアピールしていただきたいです。渋滞の緩和という交通面の効果だけではなく、生活面においても良いことづくめだと思います。お金がかからない取組であるので、なお推奨されるべきです。



岐阜市在住 30代 男性 公務員



瑞穂市から県庁まで、7時台前半では通常40分程度かかりますが、対象エリア拡大による渋滞の 解消効果が窺え、期間中同じ時間帯で、10分ほど早く到着することができました。

瑞穂市在住 40代 男性 公務員

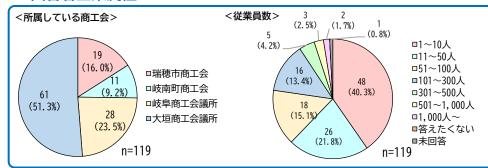
TDM施策の実施における所属の理解が希薄であることが課題であると感じ

岐阜市在住 60代以上 男性 公務員

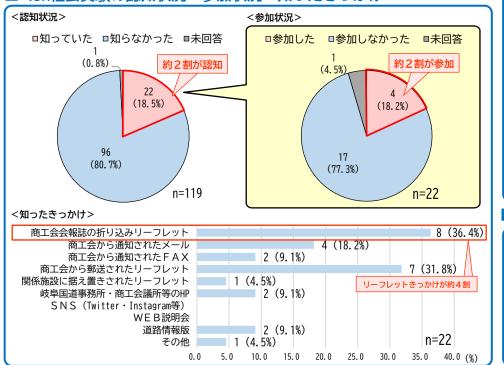
効果検証② 企業アンケート結果

- TDM社会実験 実施期間の行動変化や交通状況の変化を把握するため、企業へのアンケート調査を実施。 (調査期間: R5.2.2(木)~2.28(火))
- 結果として、119のサンプル数を取得。TDM社会実験の認知状況、参加情報、今後の参加意向などを取得。

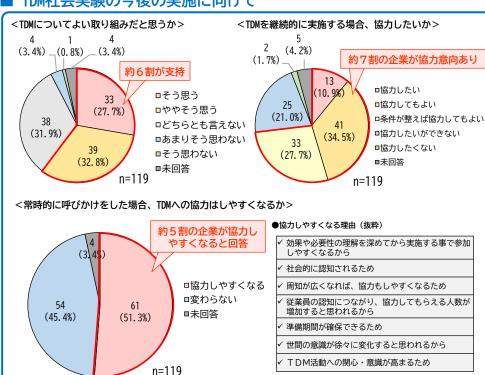
■ 回答者企業属性



TDM社会実験の認知状況・参加状況・知ったきっかけ



■ TDM社会実験の今後の実施に向けて



■ TDM社会実験に対する自由意見(抜粋)

業務やお客様に対して影響が出ないのであれば、TDM社会実験の継続実施に賛同します。 また、社会全体として取り組む事が必要だという気運が高まれば参加しやすいです。



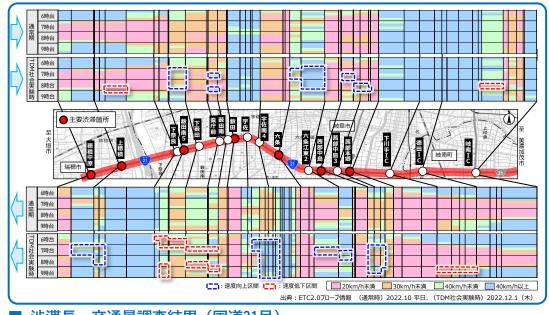


TDM社会実験について知りませんでした。 会社も含めた整備、十分な周知があれば、協力したく思います。

(4) 効果検証③ 旅行速度·渋滞長·交通量 調査結果

- TDM施策の効果を検証するために、旅行速度や渋滞長・交通量といった定量的な視点において効果検証を実施。
- 国道21号を中心に旅行速度においては渋滞緩和効果を確認し、渋滞長にも多少の減少が見られたものの、交通量は大きな変化が見られなかった。

■ 旅行速度状況(国道21号)



■ 岐阜市街地周辺の旅行速度状況(市内全体)



■ 渋滞長・交通量調査結果(国道21号)

